

平成 25 年度 科学技術戦略推進費
「総合科学技術会議における政策立案のための調査」に係る実施方針

平成 25 年 8 月 8 日
総合科学技術会議

調査名 第 4 期科学技術基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略のフ
ォローアップに係る調査

1. 目的

- 総合科学技術会議は、第 4 期科学技術基本計画（以下、「基本計画」）及び科学技術イノベーション総合戦略（以下、「総合戦略」）に掲げる科学技術イノベーション政策を効果的、効率的に推進するため、政策、施策等の達成目標を明確に設定したうえで、進捗状況について適切にフォローアップを行い、政策等の見直し等に反映することとしている。
- 基本計画については、平成 26 年度の早い時期に、科学技術イノベーション推進専門調査会において、中間フォローアップの結果を取りまとめ、平成 27 年度の第 5 期科学技術基本計画の策定に活かすことが必要である。
- また、日本再興戦略において今後 5 年以内に科学技術イノベーションランキング世界 1 位との目標を掲げたことを踏まえ、現在世界 1 位の国との差異等の分析を行い、継続的に改革を実施することが必要となっている。
- このため、本調査では、以下の事項を明らかにする。
 - ① 基本計画が掲げる目的に向けて、多様な取組がどのように進捗しているか、目的はどこまで達成されているか。
 - ② 欧米諸国等と比較した日本の科学技術イノベーションの現状はどうなっているのか、特にランキング上位国と比較したときの日本の弱みは何か。
 - ③ 今後の 2 年間に取組む課題と取組案は何か、第 5 期基本計画で取り組むべき課題案は何か。

2. 実施内容等

担当府省 : 内閣府 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）
実施機関 : 担当府省において行う入札により決定

（重要性・緊急性）

- 基本計画は、これまでの科学技術基本計画から大きく転換を図り、イノベーションの実現を掲げて様々な取組を推進している。この転換を着実に進め、科学技術イノベーションを実効あるものとするためには、基本計画のフォローアップもこれまでの在り方から転換していく必要がある。

- すなわち、これまでは科学技術の振興を主眼として、研究開発費の変化や研究開発の成果としての論文数や特許の数など、科学技術政策の資源投入（インプット）と結果（アウトプット）について重点的に情報が収集されてきた。今後は、科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造や、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造につながっていることを、資源投入及び結果と併せて効果（アウトカム）や間接的効果（インパクト）も含めて、総合的かつ客観的に明らかにする必要がある。
- 現時点で把握可能であるのは、基本計画の当初2か年の結果であるが、2か年の活動が基本計画の目的（期待された効果）に向けて、着実に進展しているかどうか、していないとする場合にどのような課題があるか、それに対処する取組は何かを明らかにしていく必要がある。
- また、科学技術イノベーションの創出は、日本を含む先進国だけでなく、新興国とも競争となっている。その中で5年以内に世界1位となるためには、現在の日本の立ち位置と、上位の国々と比較した日本の強み、弱みを詳しく分析し、対応策を明らかにしていく必要もある。
- 専門調査会では、平成26年度初旬に中間フォローアップ結果を取りまとめるため、必要なデータの収集と分析を行う本調査は速やかに実施される必要がある。

（実施内容）

ア. 基本計画に基づく施策等の実施状況

- i) 基本計画に基づき実施されている施策に関連する既存の情報（実施機関、予算、これまで得られた成果、施策評価の結果等）を収集する。
- ii) 基本計画に掲げられている目的に対して、複数の施策の進捗を踏まえ、目的達成に向けて活動が進捗しているかどうかを総合的に分析する。
- iii) 総合戦略に掲げられた重点的課題については、より効果的に課題達成を図るため、既存情報に追加して収集すべき情報を整理し、収集・分析を行う。

イ. 科学技術イノベーションのパフォーマンス

- i) 基本計画及び総合戦略に掲げられている目標に沿って、日本の科学技術イノベーションのパフォーマンスに関するデータとこれと比較可能な欧米・主要新興国のデータを収集する。
- ii) 科学技術イノベーションランキングを構成する指標案を選定し、ランキングの試算を行う。
- iii) 国際比較により日本の強み・弱みを明らかにする。また、これらに関連する主な国内外の取組に関する情報を収集し、特に強み・弱みの背景にある取組について試算したランキングの上位国との国際比較分析を行う。

ウ. まとめ

- i) 追加情報の収集・分析及び国際比較分析の結果を踏まえ、世界1位を達成するための課題、第4期期間中の2年で達成すべき課題案及び第5

期基本計画に向けた課題案を整理する。

- ii) 4期期間中の課題達成に必要な取組案と、基本計画終了後の事後評価における評価軸を明らかにする。

3. 調査結果の報告

担当府省は、調査を取りまとめたのち、速やかに、その結果を科学技術政策担当大臣及び総合科学技術会議有識者議員へ報告する。

4. 配分予定額

396 百万円